

JA白山
広報

豊かな自然・・・そして ふれあい

人だより

2017
February
第104号

2

平成29年度営農事業方針



営農事業方針

- ②ハウスでの促成栽培や水耕栽培による、早期・周年出荷での所得向上
- ③主要園芸品目の有利販売と販路拡大、仲卸・流通業者との連携及び系統流通加工業者への販売強化

3. 地域農業の活性化と農業所得の増大

(1) 直売所「よらんかいねえ広場」の拡充

- ①産直取扱高の拡大
平成29年度販売高目標 2.1億円 H28実績見込み1.9億円(内1号会員1.1億円)
- ②産直会員の拡大 H29目標380名(1号会員236名 2号会員144名)
- ③65才からの健康・生きがい農業の推進
定年等による退職者へ健康と生きがいづくりを目的に園芸作物生産の取組みを推進、直売所出荷会員の拡大を図る
- ④中山間地農業活性化のため山菜等の生産拡大を推進
- ⑤園芸栽培技術の向上と有利販売品目生産による所得増大
・園芸講習会の開催により、栽培技術の向上と良品生産による所得向上を図る
・直売所への不足農産物生産による有利販売、集荷体制づくりによる出荷拡大
- ⑥地場産品を活用した加工品の拡大 生産・出荷と商品開発連携先の開拓

(2) 省力、低コスト農業の推進

水稻肥料(基肥)・農薬等の生産費引下げ、及び農機購入費助成による低コスト生産対策、直播栽培の推進を図るとともに、高密度育苗等の新技術の導入を検討し省力化の取組みの推進
※農薬の大型規格品(50kg)を5種類に拡大

(3) 担い手の育成支援

- ①新たな担い手の就農支援を行政との連携実施
- ②営農計画や有利な農業制度活用の提案と推進
- ③園芸・花卉新規就農者(就農時45才以下)の育成・支援
- ④作業効率向上のため、大区画化等の圃場整備事業の推進

(4) 共同利用施設の改善・整備

- ①園芸品目拡大による施設整備の実施
- ②農業施設の利用拡大
農業施設の利用拡大により、利用コストの引下げを図るとともに農家の負担軽減に寄与
- ③無人ヘリ防除事業の安全作業と精算の統一化
JAが事業全体運営の指導徹底を図り、安全作業、利用料金の統一化を実施

(5) 農産物の安全確保・品質向上と食農教育活動の実践と地産地消の推進

- ①生産履歴と生産工程管理等の取組みの強化
- ②体験農園、出前授業、よい食プロジェクトの継続と学校給食への食材供給による地産地消の継続

4. JA出資型法人(有)アグリサポート白山の取組み強化

(1) 担い手農業者と協調した農地の利用調整と水田農業振興

(2) 複合経営確立に向けた農業振興の取組み

水稻2.1ha、園芸品1.0ha(ネギ、丸いも、ニンニク、カボチャ)、水耕栽培(リーフレタス等)、加工事業(味噌製造販売(2.2t)、もち・かきもちの製造販売)

※JAが行う、支援事業の詳細については3月号にてお知らせします。

JA白山平成29年度

第11回理事会において、平成29年度の営農事業方針が決定しました。

政府によるJA改革等厳しさが増す中、JA白山では「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの基本目標に向けた営農事業に取り組みます。

重点方針

JA白山の地域特性を生かした農地の有効利用や園芸振興による農業経営の複合化により地域農業の活性化と農業生産の拡大及び農業者の所得増大を図る。又、国による米の生産数量配分実施の最終年度であるが、米の価格維持に向けて生産者・JA・行政が連携し需要に応じた生産調整が不可欠であり、今後も徹底する。

1. 水田フル活用による生産拡大と所得増大

(1) 需要に応じた米、麦、大豆、そばの計画生産による所得増大

- ①主食用米生産調整率 32.5%を達成 1,033ha(全面積の68.8%)
- ②大豆、麦、そばの生産 大豆90ha(全面積の6%)、麦19ha(同1.2%)、そば30ha(同2%)
- ③非主食用米 100ha(全面積の6.7%)

(2) 安全・安心な白山米の生産と有利販売の拡大

- ① 1等米比率90%以上、玄米タンパク含有率6.5以下の米の生産
- ②品種別作付面積の確保と契約栽培米及び直売米の拡大
コシヒカリ760ha、ゆめみづほ135ha、五百万石100ha、
○契約栽培米 12,450俵(コシヒカリ8,500、比咩の米 850、もち米2,600、酒米 500)
○直売米 18,560俵(コシヒカリ 14,000、ゆめみづほ4,500、もち米60)
- ③石川県の新品種「石川65号」は、大型農家の作業分散化と所得増大を目的に初期導入

(3) 優良種子産地の維持確保 契約栽培量の確保と生産者育成

- 水稻238t、麦55t、大豆41t

2. 複合経営の確立に向けた園芸作物の生産拡大

(1) 園芸販売高1.8億円の達成

園芸拡大5ヶ年計画の2年目となり、当初計画に基づいた産地化の育成と所得増大

販売実績と年度別販売目標(直売所含む)

(万円)

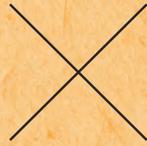
	H28 計画	H28 実績	H29	H30	H31	H32
ブロッコリー	4,620	4,105	5,100	5,940	6,770	7,260
ネギ	1,450	1,432	2,070	3,470	5,540	6,000
丸イモ	630	630	780	970	1,200	1,510
カボチャ	150	99	300	400	500	500
ニンジン	500	325	600	700	800	800
花卉	830	802	850	900	950	1,000
菌茸類	700	660	800	900	1,000	1,000
計	8,880	8,053	10,500	13,280	16,760	18,070

(2) 園芸作物の指導強化と周年出荷及び販路拡大

- ①園芸指導員の巡回強化による安定生産の実施



竹内文雄
組合長



石田正明氏

龍谷大学農学部教授



いしだ・まさあき 1948年生まれ。
農学博士。専門は地域農業論、協同組合論。現在、日本協同組合学会会長。三重大学教授を経て、2015年4月より龍谷大学農学部教授。京都大学農学研究科（農林水産統計デジタルアーカイブ講座）研究員を併任。著書に『農協は地域に何ができるか』、『JAの歴史と私たちの役割』など

生きたJA経営を託されて

「JA教育文化～家の光ニュース～」2017年1、2月号の『トップ対談 組合員・地域とともに』に竹内組合長と石田正明氏による対談が掲載されました。一部抜粋してご紹介します。

後継者確保が最大の課題

石田 JA白山は今度の六月に改選ですね。

竹内 はい。改正農協法を受けて九月の理事会で方針決定をしました。いわゆる例外規定の②で対処します。認定農業者プラス準ずる者、それに実践的能力者をうまく組み合わせて理事の過半とするというものです。現状の役員構成とほぼ近く、大きな違和感なく受け止められています。それで、うまくまとまるということですね。

石田 幾度も理事会・運営委員会で協議してきました。そろそろ各地で選任の準備に入りますからね。

竹内 ただ、条件が合えばそれでいいというものではないので、別途、資格要件的なものを申し合わせ事項としてまとめました。各事業の利用状況、出資金の目標額など、五項目に及ぶものです。

石田 その申し合わせ事項は、今回初めてつくった？

竹内 出資金の目標額は前からありました。でも、それだけではダメだということで、今回は自らがJA改革をすすめるという見地から役員選出の在り方を整理しました。

石田 そのが肝ですよ。条件さえ合えば、全然JAを利用しない人もなれるというのは問題です。

竹内 そのところをしっかりと押さえないといかん、ということですね。

石田 ということは、大型農家にも、法人経営にも、JAを積極的に利用される方はおられる。そういう方たちを選びましょうよ、ということですね。

竹内 そう、大事なことですね。ただ、JAも何かが欠けているんですね。担い手、後継者づくりの対策、複合経営の展開や品目の提案はそれなりにやっていますが、決して十分ではありません。大型農家や集落営農の大半は水稲が中心で手



石田 いっぱいの状況に対し、経営の在り方、体制づくりの提案がうまくできていません。後継者不足が続く中何らかの格好で若者が就農できるような施策を講じないといけません。県外から若者が来るようにするには、行政と手を組んでいく必要があると思っています。

竹内 かなりの農地が担い手たちに集まっているのでしょ。

石田 はい。集落営農や農業法人に集まっています。おおよそ三分の二とみています。ただ悩みもあって、担い手や若者の参入が少ない実態です。石川は働く場所が多いことも理由です。やっぱり冬場の就労が問題となりますよね。

コメにこだわる

竹内 積雪の地域は冬期農作業ができないので二〜三か月は休まざるをえません。その対策として、



毎日にぎわう生産者直売コーナー



憩いの場 鳥越産手打ちそばを味わえる

経営改善がすすむ

石田 こちらのJA、結構、経営改善がすすんでいますね。労働生産性が一千万円近くになっている。

竹内 生産調整は毎年達成されており、農家の皆さんの理解と協力は高いものがあります。

石田 買いいも来られるし、配達もあると思います。わがJAは、今年『コシヒカリ』一等で一万二千円弱の仮渡金を設定しましたが満足される価格ではありません。一層の努力が必要です。生産調整はうまくいっていますか。

竹内 自家販売というのは、個人が買いに来るとのことですか？

石田 雪下野菜、お餅、かき餅などのコメ加工品、味噌などがありますが、量的には知れています。第二次農業振興計画が今年度からスタート、コメと園芸の複合経営の展開を推進し、冬期には新たに菌床シイタケや野菜のハウス栽培を提案しています。しかし、今もそれ以上に重要なのがコメなのです。良質米産地として、有利価格での自家販売もあります。

竹内

その点については施設の整備による合理化と経営改善です。施設面では支店の統廃合と営農施設の集約をしました。ライスセンターの統廃合では二か所廃止、育苗センターも一か所廃止しました。今後は農機センター、自動車センターの集約が課題です。この規模のJAで、農機センターが三つ、自動車センターが二つもあります。

石田

竹内

ちょっとびっくりですね。わたしがJA経営を受け継いだとき、労働生産性はおよそ八〇〇万円でした。他と比べて一〇〇万から一五〇万円低かった。ここへきてぐっと跳ね上がりました。わたし自身、経営管理の世界に身を置いた者として、多少なりとも経験を生かすことができたのかなと思っています。



人づくりは意識改革から

す。職員たちといろいろな話をし、経営管理なり仕事のやり方を変えることができるようになりました。今、その成果が出てきたと考えています。

竹内

経営改善に大きな役割を果たしているのが、大型直売所「よらんかいねえ広場」です。これを始めてから職員の意識が変わりました。無休で営業をしているため、職員の週休二日制による作業シフトは大変です。小売業をやっていると、見えないところで多くの仕事をこなさなければなりません。そういう裏方の仕事を他の職員は見ているのです。

石田

これが刺激となって、自然に意識が変わってきました。その意識改革をもたらしたのは、わたしのかつての職場にいた現店長の仕事ぶりです。つねに前を向き、新たな仕事を起こそうとする。従来のJAマンは受け身的でした。

竹内

それがいちばん無難なことだと思います。新たなことを起こすには大変な労力と努力が必要です。JAマンがそういうことにあまり慣れていなかったと感じます。

石田

ということ、ビジョンづくりや計画づくりも組合長が率先しておやりになっている。事業計画などは、根幹のところは基本ですから指示が必要です。

竹内

組合長になられてから、組合員をずいぶん増やしましたね。

石田

この五年間で正准組合員一五〇〇人増やしました。

竹内

内部留保もかなりありますね。家の光文化賞を狙うには、やっぱり財務基盤がしっかりしないといけません(笑)。

石田

内部留保もかなりありますね。家の光文化賞を狙うには、やっぱり財務基盤がしっかりしないといけません(笑)。

直売所で地域の賑わいをつくる

竹内

わたしの経験から、まずはしっかりとした経営を立てること。これが重要です。それがないと投資もできないし、地域農業の維持・育成もできません。健全経営が基本となります。このところ毎年、前年を上回る事業利益が出ていますが、今年の場合は間違いなく大型直売所「よらんかいねえ広場」がよい影響を与えています。生産者の活力と所得増大に繋がりにJA経営にも大きなプラスです。

石田

大型直売所でどれだけの改善ですか。

旧の直売所とAコープは継続的赤字経営でしたが、これらを閉鎖したことで、新直売所の売上が順調に推移しており、従来の赤字が、黒字経営になります。

石田

「よらんかいねえ広場」でお米はどれくらい売りますか？

四千万円を超えています。全体の販売額の約一割で、その他に直売として京都・大阪の卸に出荷しています。規制改革推進会議は全部買い取って直売でやれ、と言われますが全量買い取り販売はできません。問題は有利販売につながることは考えられないし、代金回収を甘く見てはいけません。

石田

現金取引ですね。

アイデアを現実化する力

竹内

協同組合はリスクを減らすことが重要で、組合員さんに迷惑はかけられません。話をもとしますが、人口減少社会を見据えるなかで、JAらしい「地域づくりや活性化」の取組みが重要になっていると思います。金沢市から車で四〇分。こ



店頭精米は年間4000万円を売り上げる

石田

これまで面白い物に来てくださる方々がたくさんおられます。今や「農家レストラン」という言葉が当たり前になっていますが、地産地消でみんなが楽しめるような食の提供をしたいと考えています。そうすることで地域に賑わいをおこし、生産者たちが張り切る産地にしたいのです。新たな担い手を探しては……。

竹内

新たなアイデアを現実化する起業家をつくりたい。「白山ネギに白山地鶏」で地域特産を創り上げるなど、夢はたくさんあります。

石田

いいですね。

竹内

農業に元気がなくこのままでは「企業にやられる」という話もありますが、JA自らがいかにか新たなことを考えて行動を起こすかだと思つてます。その熱意ある姿に若者たちがついてきてくれるようにしたい。まずはアグリサポートで複合経営を確立し、その形をアピールしたい。次は地鶏に挑戦です。

(終・取材平成二十八年十一月一日)

理事会だより

第11回理事会

日時／平成29年1月27日(金) 午後1時30分

【審議事項】

第1号議案 平成29年度宮農事業方針(案)について(可決)

第2号議案 理事が代表を務める法人への信用供与について(可決)

第3号議案 第4回総代選挙における選挙管理者等の変更について(可決)

【報告事項】

- ① 平成28年12月末事業実績について
- ② 平成28年度第3四半期自店検査結果について
- ③ 平成28年度(4～12月)有価証券運用実績について
- ④ 組合長一任取引にかかる有価証券取得結果について
- ⑤ 固定化債権回収方策について
- ⑥ 平成28年度第3四半期苦情等の受付対応処理状況について
- ⑦ 平成28年度第3四半期事務ミス等の発生状況について
- ⑧ 平成28年度第3四半期反社会的勢力等にかかると対応状況について
- ⑨ 平成28年度第3四半期組合員数について
- ⑩ JA白山合併10周年記念式典・講演及び記念イベントの概要について
- ⑪ 地区別宮農座談会日程について
- ⑫ その他



伝統かきもち編みあげ体験

蝶屋小学校5年生

1月19日、蝶屋小学校の5年生67人が、井関生産組合（井関町）の工場見学と、かきもちの編みあげ体験をしました。

井関生産組合では、かきもちができるまでの製造工程を見学し、クチナシや赤カブ等、天然の色素を使ってきれいに色づけされたかきもちが、天井一面につるされた様子に圧巻されていました。

学校の教室では、西田勉さん（手取自然農法の会の指導のもと3本のひもを使って、一人12枚のかきもちを編みあげました。

体験に使用したもち米は、昨年4月に同校中庭で児童が種まきから稲刈りまでを行った、「かぐらもち」を使用しました。

お世話してくださった西田さんは、「この経験を通じ、先人の知恵で作られた伝統のかき餅を次世代に伝えたい。農業に関心をもってもらいたい」との思いから毎年この活動にご協力いただいています。



かきもちのカーテンに感動



編みあげの説明をする西田さん

「田んぼの学校」プロモーション

地域の農を次世代へつなぐ!!

農業や農作物への理解促進と、環境に対する豊かな感性をもつ子どもを育てるために、県と地域、農協が学校と連携した体験型の農業教育を行っています。



美川中学校で おにぎり無料配付



高橋蝶屋支店長からおにぎりを受け取る生徒代表 ながもり かくだ ゆうき 角田 優貴さん(左)と長森 らん 蘭さん(右)

JAGグループ石川では、毎月2日を「おにぎりの日」と定め、PR活動を展開しています。今月は2月2日、美川中学校の生徒におにぎり350個を配布しました。

生徒たちが楽しみにしている給食時間に2年4組のみなさんをたずねました。JA白山の高橋蝶屋支店長から「お米を作っている農家の方へ感謝の気持ちを忘れずに、部活動や勉強に頑張ってください」と挨拶の後、生徒代表の角田優貴さんと長森蘭さんがおにぎりとメッセージを受け取りました。

JA白山では毎月この取り組みに参加し、おにぎりの簡便性やごはんの魅力を知ってもらうことで、県産米の消費拡大に繋げる取り組みをしています。

次回は鶴来中学校を訪問します。

平成28年度
活動実績発表・青年の主張
石川県大会

1月21日、JA石川教育センターで、JA石川県青壮年部協議会による「平成28年度活動実績発表・青年の主張石川県大会」が開催されました。この大会はJA青壮年部組織及び盟友が熱意あるJA活動・青壮年部活動の優良事例を発表し、今後の活動目標設定や組織の刷新強化に資することを目的に開催するもので、県内青壮年部組織約120名が参加しました。

当JAからは実績発表の部で林支部が「耕作放棄地での野菜作り」「食農教育活動」「婚活イベント」等の活動を発表しました。看板コンクールでも林支部が「アート部門」最優秀賞を獲得、6年連続の受賞となりました。林支部の作品は県代表作品として全国大会で入賞を目指します。大会終了後は県下の盟友たちと今後の農業について語り合い親睦を深めました。



青壮年部の活動強化・前進を目指し大会に臨んだ

防犯訓練
〜つるぎ支店〜

1月15日、つるぎ支店で日本防災通信協会石川県支部、白山署の協力のもと、支店職員ら30名が参加して、防犯訓練が実施されました。訓練は、拳銃をもった犯人役の白山署員が侵入し、金銭を要求、逃亡するという想定で行われました。

「動くな！」と拳銃を発砲した犯人は、職員を威嚇しながら金庫を開けるように要求したが、金庫は開かず、何も奪つことなく逃走。数名の職員は犯人の逃走車や走行方面を確認しました。その後駆け付けた警官から、髪型・人相、服装・凶器、車のナンバー・逃走方向など、犯人像に近づくための質問を受け、手掛かりとなる特徴などを報告します。女性職員からは、「偽物と分かっていても迫力があり、思うように顔は見られなかった。いざという時の対応が冷静にできるような心がけたい」と訓練からの学びの声がかれました。



拳銃を突きつけ威嚇する犯人役



駆けつけた警察官の質問に答える職員

訓練の後は、振り込め詐欺を窓口で未然に防ぐための接客対応も学び、職員一同、防犯の意識を一層高めました。

ふれあいサロン

もみじ会

1月13日、上吉谷の集会所で「新年初参りと法話の会」のテーマで開催しました。今年も健康で楽しく過ごせましように皆で昼食会と風船を使った健康体操とゲームを行いました。



そくさい

2月2日、瀬戸市民サービスセンターで「健康教室と女正月で福笑い」をテーマに開催しました。昼食には地元野菜たっぷりのけんちん汁と、節分に食べると縁起が良いとされる恵方巻をいただきました。



第6回グリーン・レディース・カレッジ <閉講式> ご案内

伝統料理教室 子どもたちに伝承したい笹の押寿司

JA白山女性部

日時 平成29年2月18日(土) 午前10時00分~12時00分

場所 蝶屋公民館 講師 伊奈 和子さん 参加費 500円

お問い合わせ先 蝶屋レディースメイト事務局 北村・中出 TEL 278-2315
鶴来支部事務局 古川・大平 TEL 272-1515
手取支部事務局 炭谷・山岩 TEL 255-5001
本部事務局 藤本 TEL 272-3333



「抹茶入り玄米茶」 「手作り無添加米糀五割味噌」 試飲会

1月6日、JR金沢駅構内にあるJAグループアンテナショップ「Aガイヤ」にて、JA白山プライベートブランド「抹茶入り玄米茶」と「手作り無添加米糀五割味噌」の試飲販売会を行いました。

「Aガイヤ」は金沢駅のコンコース西口エスカレーターで2階に上がった場所にあります。当JA商品の試食・試飲会を毎年この時期に行つて県内外の方へPRしています。

「手作り無添加米糀五割味噌」の原料となる大豆「里のほほえみ（品種）」は減農薬・減肥量で栽培し、厳選された大豆のみを使用し、昔ながらの手作り製法で作られた田舎味噌です。試飲されたお客様からは、「優しい味で美味しい」と好評でした。

JA白山ブランド「米糀五割味噌」の 仕込みはじまる（有）アグリサポート白山へ

1月23日から、地元産大豆、米糀を使ったJA白山オリジナル味噌「米糀五割味噌」の仕込みが始まりました。原料の大豆を煮て作る味噌が多い中、JA白山オリジナル味噌は、せいろで蒸すことによって、大豆の栄養成分を逃さず、大豆本来の甘味が増すよう作られます。

地元産大豆を100%使用した、大豆5に対して米糀5無添加のJA白山オリジナル味噌です。白山麓に昔から伝わる製法で、究極の味を再現しました。まろやかな自然のうまみがぎゅっと詰まっています。防腐剤は一切使用しておりませんので、風味や色合いを保つためにも、必ず冷蔵庫で保存、開封後は早めにお召し上がりください。



女性部

第5回グリーンレディースカレッジ 酢的生活お料理教室

1月21日、美川文化会館で季節の根菜とお酢を使った健康料理教室を開催しました。今回は黒豆巻き寿司・簡単酢豚・あさりの味噌汁・赤かぶのサラダ・ほうじ茶プリンの5品を作りました。お酢の効果的な使い方を学び、健康的で美味しいお料理が出来上がりました。



第6回女性大学 手前味噌を作ろう

1月18日、林加工場で味噌作り教室を開催しました。毎年好評の教室で今回は5名が参加され、講師の北村静江さんの指導の下、管内で採れた大豆を蒸し、麹・塩を丹念にほぐし、混ぜ合わせて「美味しくなあれ」と言葉をかけながら、各々のオケに詰めました。蒸した大豆のほんのり甘い素材の良さに感心しながら、参加者は10月の完成を心待ちにしています。



JA白山女性大学 受講生募集!

はじめませんか、
自分磨き!

JA白山では、食、農、暮らし等の様々な分野のカリキュラムを通じて「自分磨き」のための女性大学を開講いたします。地域在住の方なら誰でも参加できます。



第7回JA白山女性大学のご案内

開催日時	場所	講義テーマ	受講料	事前申込み締切日
平成29年3月23日(木) 19:30~21:00	JA白山 つるぎ支店 2階会議室	終活（遺言・相続・介護） お金のもろもろ教えます！ ～長生き女性の第2の人生 賢い生き方～ 講師/行政書士 浜崎 泰彦氏	無 料	3月16日(木)

JA白山女性大学事務局(担当:総務部 藤本・鳥居) TEL(076)272-3333

求む!農業経験者

JA職員の臨時募集について

第2次農業振興計画における農業生産の拡大と今後の若年層育成のため、次の項目について人材を募集しています。

- 就業場所 JA白山営農経済センター(白山市井口町は7番地1)
- 採用予定人数 若干名
- 雇用形態 臨時職員(正職員への登用実績有)
- 雇用期間 採用日～平成29年3月31日(1年ごとに更新あり)
※採用日については応相談
- 職種 農業関連業務(農作業、農業事務、農業施設運営、出荷、配送)
- 給与 平均月給20万円～25万円
農業に関する経験・能力を考慮
- 休日 週休2日(勤務カレンダーによる)、
年末年始(12月31日～1月3日)
- 就業時間 原則、8時30分～17時15分(休憩60分、実働7時間45分)
- その他 年次有給休暇(正職員に準ずる)
- 待遇 各種社会保険加入、賞与年2回、交通費支給(当組合
規程による)、その他福利厚生あり
- 応募資格 高校卒業以上、農業・農作業経験者優遇、普通自動車
免許(AT限定は不可)
年齢は40歳迄
- 応募方法 本店採用担当係まで下記応募書類を持参または郵送
にて提出してください。
- 応募書類 履歴書(写真貼付)、職務経歴書
- 選考方法 書類選考、面接

この件に関する
お問い合わせ先

白山農業協同組合 本店 総務部 総務課 採用担当係
〒920-2154 白山市井口町に62番地1 TEL(076)272-3333

地区別 園芸栽培講習会

美味しい野菜を
作りませんか?



蝶屋地区〈基礎編〉

日時 平成29年2月22日(水)
午後1:30～
場所 蝶屋支店 2階和室

つるぎ・大神地区〈専門編〉

日時 平成29年2月24日(金)
午前9:30～
場所 本店 2階和室

手取地区〈基礎編〉

日時 平成29年3月3日(金)
午後1:30～
場所 鳥越公民館

講師 東 保之 氏

元翠星高校 園芸・花卉教員

内容 地区に合わせた作物の基礎から応用まで、初心者の方でもわかりやすい栽培講習会です。生産者の方はもちろん、これから始めようと検討されている方は、是非ご参加ください。

お申し込み・お問い合わせ▶JA白山 営農経済部 園芸振興課 TEL(076)273-5277

JA
白山



出荷者大募集

JA白山農産物直売所「よらんかいねえ広場」では、新鮮で安全・安心な農産物(野菜、果物、花等)を提供していただける出荷者を募集しています。農業が本職の方も新規就農者の方も、小さな菜園をお持ちの方でも出品できます。地域の特性を活かした「白山農業」の活性化に!直売所を活用した所得向上に!

ご不明な点はお気軽にお問い合わせください。一人でも多くの方の出荷をお待ちしております。お申し込み・登録、出荷に至るまで詳しい内容は、よらんかいねえ広場ホームページでご紹介しています。



お問い合わせは

営農経済部園芸振興課 担当 中田・古田 TEL(076)273-5277 FAX(076)273-2758
よらんかいねえ広場 担当 林 TEL(076)273-3002 FAX(076)273-1977

農業者年金で生涯所得の確保を!

目次
 担い手積立年金



- あなたの老後生活への備えは十分ですか?
- 年金は家族一人ひとりについて準備することが大切です。
- 老後の備えは国民年金プラス農業者年金が基本です。

農業者年金 へは…

**国民年金第1号
被保険者**

国民年金保険料
納付免除者を除く

**年間60日以上
農業従事**

60歳未満

の方ならどなたでも加入できます。

税制面で大きな優遇措置があります

支払った保険料は全額社会保険料控除の対象となります

保険料控除分の節税額(所得税・住民税)

課税対象所得	税率	保険料月額4万円 (年額48万円)の場合	保険料月額6万7千円 (年額80万4千円)の場合
195万円以下	15%	7万2千円	12万6百円
195万円超 330万円以下	20%	9万6千円	16万8百円
330万円超 695万円以下	30%	14万4千円	24万1千2百円



※保険料支払分で控除される所得税+個人住民税の額の試算です。保険料支払後も保険料支払い前と適用される税率に変更がないものとして試算しています。

- 積立方式・確定拠出型の年金です。制度発足以降14年間の運用利回りは、年率で+2.73%です。運用益は非課税で年金原資として積上がります。
- 保険料の全額社会保険料控除の税制優遇措置もあります!
農業者年金の保険料は2万円から6万7千円まで(千円単位で)加入者が自由に選択できます。また、保険料の額はいつでも見直しできます。
- 終身年金です。80歳までにお亡くなりになった場合、死亡一時金があります。
農業者老齢年金は、原則65歳から生涯受け取ることができます。(60歳からの繰上げ受給も可能です。)仮に80歳前に亡くなられた場合でも、80歳までに受け取れるはずであった農業者老齢年金の額の現在価値に相当する額を、ご遺族(死亡者の死亡当時に同一生計であった、配偶者、子、父母、孫、祖父母又は兄弟姉妹の順位)に死亡一時金として支給されます。
- 納められた保険料につきましては、途中で脱退されても脱退一時金はありません。将来、年金として支給されます。
- 脱退された方も、加入要件を満たせばいつでも再加入できます。

無料税務相談会 要予約

- 開催日時 平成29年2月24日(金)
3月8日(水)
午前9時~12時
- 開催場所 JA白山 本店



当JA顧問税理士
福田 正寛

お問い合わせ・お申込先

ご希望の方は、ご予約をお願い致します。

TEL 272-3333
FAX 273-0690

(担当/総務課 小坂)

JA白山合併10周年記念 ～感謝の集い～

なつかしの

主催 白山農業協同組合

紅白歌合戦

2017



山本 リンダ

紅組



九重 佑三子



田辺 靖雄



錦野 旦

白組



松村 和子



山本 譲三

司会・応援



大場 久美子



合田 道人



三輪 一雄

3/19 [日]

第1部 ● 開場 12:30 開演 13:00
第2部 ● 開場 16:00 開演 16:30

会場 ● 白山市鶴来総合文化会館クレイン 大ホール

募集要項

対象者 ● JA白山 正・准組合員

申込方法 ● 専用の応募用紙に記入し、2月28日(火)までに最寄りの各支店まで提出ください。

座席 ● 抽選にて当選者と指定席を決定させていただきます。

料金 ● S席: 2,000円(税込) A席: 1,500円(税込) B席: 1,000円(税込)

お問合せは、JA白山本店(TEL076-272-3333) または最寄りの各支店までお願い致します。

私たちのJA

(平成28年12月末実績参考)

組合員数 6,591名(団体会)

● 貯金残高	68,138百万円	● 購買品供給高	1,686,282千円
● 貸出金残高	17,870百万円	● 販売品取扱高	96,632千円
● 長期共済保有高	2,212.9億円	■ 職員数(パート除く)	141名

